

令和3年度 第2回牧之原市図書館協議会会議録

1 開催日時 令和4年1月21日(金) 午後2時～午後4時

2 開催場所 牧之原市文化センター3階 大会議室

3 出席者

【牧之原市図書館協議会委員】(1名欠席)

鈴木 善彦
水嶋 みゆき
岩崎 陽子
佐藤 寛
鈴木 亜弓
杉本 公恵
武田 てるみ

【事務局】

| | |
|----------|-------|
| 教育文化部長 | 内山 卓也 |
| 社会教育課長 | 八木 康仁 |
| 図書係長 | 増田 茂美 |
| 図書館長 | 杉村 明彦 |
| 総括主任 | 元木 香代 |
| 総括主任 | 水野 秀信 |
| 会計年度任用職員 | 芹澤 芳里 |

4 傍聴者 3名

5 議題

【報告事項】

図書館の利用状況及び年度内のイベント等について

【榛原図書館及び榛原文化センター見学】

【協議事項】

榛原図書館の整備(案)について

6 内 容(要点記録)

【報告事項】

図書館の利用状況及び年度内のイベント等について

◎事務局説明要旨

①利用実績

開館から12月末までの実績について報告。新型コロナ感染拡大防止の影響が見られつつも、大きな落ち込みは無く、一定の需要があったと見られる。

②図書交流館の設備改善

・文庫コーナー最下段の棚板上げ ・キッズワンダーコーナーにビニールシート設置 ・PC 席
キャスター付きの椅子をキャスターなしに変更 ・資料情報エリアにレールライトを増設

③今年度開催される行事等

イベント、企画展示、蔵書点検等の説明。また、来年度を含め今後の予定について。郷土の作家コーナー作成、図書館サポーターの活動、本の注文制度等を準備している。

◎委員からの意見等

(意見) イベントや企画展示を多く開催しており、登録者数、来館者数増に繋がったように思う。利用実績の中で交流館と榛原図書館では開館日数に違いがあるが、時間数ではどれほどの差が見られるのか、わかれば知りたい。

(市回答) 図書交流館は平日10時から19時、土日祝日は10時から18時までの開館に対し、榛原図書館は9時から17時、ただし水曜日のみ9時から19時まで、の開館となっている。1日あたりの時間数で図書交流館の方が長い。

(意見) 図書交流館が19時までの開館になり、改善が見られたように思う。

(意見) 高校生と図書交流館横のフリースペースでまちづくりのワークショップを行った。使い方のアイデアは様々あり、民間を含めた使い方の発信やPRができればよい。また、書架の一部を明るくする予定とのことで、利用者の意見を取り入れてもらい大変うれしい。

(意見) 桑田さんの不沈アタッカー原画展の他、地元出身作家の講演等を行うと子どもたちの関心も持ててよいのではないかと。

(意見) 川崎小学校の子どもたちも図書交流館に行っていると聞く。たとえ子どもたちにとって遠い場所でも、目新しいイベントや仕組み、設備があることで図書交流館へ行くきっかけとなる。親目線からも、図書交流館へ行くようにながせる。

(意見) 市外在住の方からも図書交流館を評価してもらっていると感じている。来館者や貸出し冊数の増加といった数値は大事だが、ボランティアの活動はよいことで、市民と一体での図書館づくりを継続して欲しい。

【榛原図書館及び榛原文化センター見学】

◎榛原文化センターの各フロアをまわり、榛原図書館は書庫を含め見学

【協議事項】

榛原図書館の整備(案)について

◎事務局説明要旨

予算に係ることなので決定ではないが、榛原文化センターの1階で図書館を整備するための設計を来年度に行いたいと考えている。図書交流館での利用状況や、さきほどの文化センター内見学の感想等を踏まえ、榛原図書館に持たせる機能のアイデアや優先すべき点について意見をいただきたい。

◎委員からの意見等

(意見)図書交流館のイメージに引っ張られてしまうが、榛原図書館は本を窮屈に詰めた印象があり、もう少し広くしてゆとりを持って蔵書を増やせるとよい。

(質問)現在の図書交流館と榛原図書館及び一階に移転した場合の榛原図書館の面積を知りたい。

(市回答)図書交流館の面積はミルキーウェイスクエア内で815㎡、旧相良図書館を書庫として89㎡使っている。榛原図書館は約150㎡、閉架書庫が約20㎡ある。

1階に榛原図書館を移した場合の想定では300㎡弱、廊下等含めると400㎡ほど。

蔵書数は現在、図書交流館が約4万冊、榛原図書館が約3万冊ある。参考として、「公立図書館の任務と目標」の中では800㎡、5万冊が最低基準とされている。

(意見)2階の方が明るく感じる。1階は窓のない部屋も多く、中庭にも出づらいため、狭く閉鎖的な印象を受けた。

(意見)面積は広くなるが、分断される印象を受けた。奥に行くにつれて暗く怖い雰囲気を受け、使い勝手がよくない印象を持った。入り口付近は活用できるのでは。

(意見)現在1階にある移動図書館の閉架書庫や印刷室は、榛原図書館の一部として使用できないか。貸室が多く感じるが、他施設の部屋を貸室として利用できないのか。

(市回答)印刷室・閉架書庫・階段下等は、図書館として使用可能か検討中である。ただし、貸室については、田沼塾・はりはら塾と、多数の講座を持っており、近隣の様々な場所を利用してなお、部屋数が足りない状況で、部屋数は維持したいと考えている。

(質問)榛原文化センターが老朽化しているようだが、耐用年数はどうか。

(市回答)あと20年ほどあると考えているが、ひびや水もれなど、場所ごとの修繕をする必要はある。

(議長)資料5にある委員の意見を踏まえ、3年前に市図書館基本計画を作ったという経緯がある。計画にある基本理念の3本柱に専任職員の配置や専門サービスの提供、ネットワークの構築のことなどあるが、限られた時間を有効に使うため、今回はスペースの確保を含めた環境面について議論をお願いしたい。

(意見)資料の充実は重要。そのためにも、スペースの確保、開架の冊数増加をお願いしたい。また、図書館カウンターで貸室の受付も兼務させない方がよいのでは。貸室が減らせなければ、中庭に小屋のようなものを建てるなど、工夫して欲しい。

(意見)半地下が使えないというが、床を上げるなど手はあるように思う。楽屋なども活用も考えて欲しい。

(意見)ちょっとした打合せなどでフリーに使用できるスペースが市内に少ない。自由に使える中庭なら気軽に人が集まるのではないか。中高生の居場所も少なく、榛原地区の学生が図書交流館に行くのは大変だと思う。

(意見)中庭はすぐ近くに駐車場があり、排気ガスや防犯上の心配がある。午前中は日が当たらないなど、時間や天候にも左右されるため、子供を連れて行きづらい。食事ができる場所も確保して欲しい。

(質問)事務室についても大切な機能で、個人情報が見えやすいのは好ましくないが、現状どう考えているのか。

(市回答)現在1階にある事務室の場所に機能を持つことを想定している。今の人数では現図書館スペースの管理が限度なので、貸室担当者も図書館事務の一部を行うなど様々な案を検討していきたい。

(質問)半地下のカビや湿気については、現在の工法で改善できるのではないか。

(市回答)予算のこともあり、大きな工事はしない方向で検討している。また、文化活動の備品等もあり、文化センター内の荷物全てを移動するのは難しいと考えている。

(意見)一階の天井の一部を抜き、二階とつなげて吹き抜けのようにしたらどうか。

(意見)子どもたちも含め、市民に広く意見を募集する場を作ったらよいのではないか。

(意見)耐震壁のため取り払えない壁もあるが、逆に仕切りがあることで小さい子どもを安心して連れてこられるということもある。市民に意見を募集するなら、子どもたちにデザイン画で図書館を作るアイデアを描いてもらってもよいと思う。

(意見)壁は取れなくても、上半分をガラスにするのはどうか。姿が見えないと一体感がなく、全体が見渡せるほうがよい。

(議長)基本計画の具現化が大切。面積についても図書交流館に及ばない。芝生のスペースを囲って活用し、新たな目玉としたい。今日、意見が複数出たので、機会を見て事務局に回答をお願いしたい。時間の制約もあり学習室や読み聞かせスペースなど大事な機能について議論したかったが時間の制約もありここまでとしたい。今後の予算確保に向けて、

環境整備・スペースの確保に加え、資料の充実、職員の配置、ネットワーク拡充などにも努力してもらいたい。

(意見) 榛原地区の図書ボランティアに図書交流館へ行ったことがあるか聞いた際、遠くて使いづらいという意見があった。また、図書交流館ができたことで、職員のがそちらへ向いてしまい榛原図書館の館内展示も減ってしまったのでは、館内に意見箱を設置して欲しい、という意見もあった。

(議長) 図書館づくりには地域の声を大事にすることがとても重要で、事務局にも対応をお願いしたい。

以上